

では、源が同じとは、どういうことなのでしょう？

中国古代哲学において、宇宙万物のはじまりとその成立には、精気が基になったとされています。

精気が陰陽二気である天地に分かれ、陽の剛健な気と陰の柔軟な気が互いに交わり合うことで五行の気を生み、万物が芽生え栄えていったと考えられています。

つまり、万物は精気を共通の起源物質として創り出されたのです。

大経書より

『易経』では

宇宙の本は一つ  
一つが二つに分かれ  
天地になった

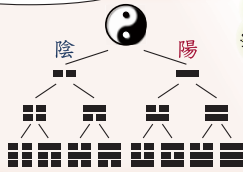
『淮南子・天文訓』では

清陽は軽く浮上し天となり  
重濁は凝滞し地となり  
天地の精は陰陽に  
陰陽の精は四時（四季・四方）に  
四時の精は万物となった  
と書かれている

地球創世の話だね

現代科学も地球は1つ目の  
元素から2つ目の元素が生まれ  
その後さまざまな元素ができ  
生命が誕生したと考えているよ

太古の出来事を断言は  
できないけど 中国古代  
の考えと現代の理論は  
どこか似ているね



この思想において、人類・動・植・鉱物は、みな生命の源を同じくして発達した有機的全体です。

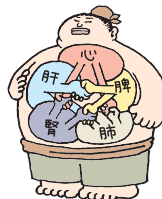
全体とは数々の部分の集合体のことですが、それぞれが相互に作用し合い、1つとして成り立っています。

地球は大きな  
整体だね



地球

人間も五臓六腑  
気血津液経絡  
四肢百骸の相互作用  
から成り立っているよ



人体